



《でんでんむしの生みの親》(令和元年夏季号)

中野孝之助通信

◎市政の課題を掘り起こし、解決に全力を尽くします!!

ご挨拶

盛岡市議会議員の中野孝之助でございます。令和元年の暑い夏を迎え、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

4年前に盛岡市議会に議席をいただき、間もなく4年の任期が満了いたします。この間、様々な課題の解決に持てる力を傾注できましたのも、ひとえに皆様のご支援、ご協力があればこそと、深く感謝申し上げます。

と、深く感謝申し上げます。

今盛岡市は、時代の変革期の中にあり、様々な課題がなお山積しております。盛岡市職員在籍の経験と、この4年間の市議会での活動を通して、私が果たさなければならない責務を、益々痛感しているところでございます。

盛岡市の発展と地域の活性化の為に、今後とも全力を尽くしてまいりますので、皆様には引き続き変わらぬご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年12月 市議会一般質問

質問項目

- ① 中津川の稚鮎の放流について
- ② 盛岡美食の夜について
- ③ 貸自転車について

① 中津川の稚鮎の放流について

- Q** 今年、鮎の稚魚放流事業の効果をどうとらえているか。
- A** 盛岡市の都市イメージの高揚を図る目的で、鮎の稚魚放流とアユ釣り教室を開催しています。鮎釣り教室の評判も良いので、例年同様の効果があったと認識しています。
- Q** 効果があるというが、釣り人が少ない。アユの稚魚の放流量が足りないのではないかと感じている。中津川は石が多い川なので、石の苔を食む鮎は、相当数生息可能と理解している。放流量を増やし、もっと市民に楽しんでもらったらどうか。
- A** 毎年、岩手県釣り団体協議会の皆さんと協議しながら、適正な鮎の放流量を決めており、平成30年度も例年通り150キログラムを放流しました。
- Q** アユの解禁日から1週間経つと、川に通う人がめっきり減り、全く釣り人のいない日もある。明らかに放流量の絶対数が少ないことを如実に表している。何か対策を考えてはどうか。
- A** 解禁して鮎がすぐいなくなり、釣り人が来ないということについては、岩手県釣り団体協議会と相談し、何が原因なのか、どういう対策が必要かを今後検討してまいります。

② 盛岡美食の夜について

- Q** 盛岡特産食材を使った熊谷喜八シェフの美味しいお料理を、私もいただきましたが、この催しを開催する手順、ご苦労などをお知らせください。
- A** 苦心した点は3点です。一つ目は、当日の盛岡特産食材の魅力を生産者が皆さんに直接伝えること。二つ目は、熊谷シェフと一緒に料理を作りたいというスタッフをいかにして集めるか。三つめはお忙しい熊谷シェフ本人の了解をとることに苦労しました。
- Q** 当日のメニュー構成にも苦心したと聞いたが、どういう点か。

- A** 盛岡ブランド6品目だけのフルコースは、構成が非常に難しいということです。
- Q** 岩手県全体、あるいは盛岡広域、三陸の物も合わせて、その中に盛岡ブランドの食材を入れ込んでいく工夫があっても良いのではないか。
- A** ご提案ありがとうございます。我々ももう少し柔軟に、盛岡産食材の幅を広げた展開を考え、おいちにPRしてまいります。

③ 貸自転車について

- Q** 市役所の前に電動貸自転車が設置されましたが、最新の自転車事情などお知らせください。
- A** 今現在呼び名はシェアサイクルということで、市内の民間事業者が「チャリオ」という愛称で運用を行っているものです。
- Q** どういうシステムなのでしょう。
- A** 民間事業者が店舗やコンビニ、公共用地にサイクルポート設置と専用の電動アシスト自転車を配置し、利用者がスマートフォンやパソコンから事前登録し暗証番号を使って解錠、施錠を行い自転車を利用するものです。乗り捨てもできます。
- Q** シェアサイクルは、盛岡が進める交通政策上の位置づけでは、どうなっているのか。
- A** 本市の自転車政策あるいは中心市街地活性化に寄与することを踏まえ、サイクルポート用地に公共用地の一部を貸し出すなど、事業の支援を行っています。
- Q** 民間事業者主導の事業展開に対し、市は今後どのように関わって行くのか。
- A** 民間事業者のこのようなご提案は、大変歓迎すべきものと思っております。今後複数業者の事業展開も考えられますことから、利用者が混乱しないように等、事業者間の調整や自転車の利用促進、安全利用に取り組んでまいります。

活動報告

米内光政閣下追悼会 2019.4.20

今日は米内光政閣下の命日です。
曾孫さんの米内ひろまささんが、盛岡に居を構えたことが今回の追悼会の開催につながりました。
昨年のお墓も寂しい限りでしたが、本日は、100名を超える人々が集まりました。やはり米内閣下のご人徳の賜と感激いたしました。
今日という日を大切に、閣下の遺徳を次代へ語り継ぐ責任を改めて実感した日でありました。



盛岡市長候補予定者討論会 2019.5.20

この秋の市長選挙の候補予定者3人による、盛岡の都市交通を語る討論会がありました。少子高齢社会における公共交通のあり方。
次世代路面電車や新バスシステム、郊外部の公共交通空白地域の対応策など、熱い論戦が繰り広げられました。
正に今の盛岡にとって、喫緊の課題が、議論の中心でした。交通政策を活動の中心に据える私にとって、この議論が盛り上がることは、これからの盛岡市政に大きな期待を感じました。誰もが住みやすい盛岡の実現に向けて、改めて身の引き締まる思いを実感しました。



都心循環バスでんでんむし減便 2019.5.21

でんでんむしが減便になりました。
先日の新聞記事に衝撃を受けました。

今全国的にバスの運転手不足が、話題になっていますが、こんなに早く、盛岡のバスに、波及して来るとは思っていませんでした。



看板路線の減便は、岩手県交通にとって、よほどの、苦渋の決断だったと思います。
後継ぎがないことで、黒字閉店などの話を、聞いておりましたが、似たような構図に感じます。
少子高齢社会の歪みが、正に我々の目の前に、現実としと現れたと思います。
バスに限って言えば、効率の良いバス路線への再編が、求められる時代が到来したと、考えなければならぬようです。
行政、事業者、市議会、市民など皆で、知恵を出し合い、新たな時代の課題に対処していくことが大切と考えます。

祝！仙北地区推進協四十周年 2019.6.2

仙北地区推進協議会の創立四十周年と仙北地区活動センター改修工事完成祝賀会が開催されました。



谷藤市長もおいでいただき、笑顔、笑顔の和やかな会になりました。
仙北地区が、まとまりが良く、安心安全なまちを作り上げて来たのも、先輩の皆様の御努力の賜物と、改めて感謝申し上げます。
今日を新たな出発点として、我々が次の世代に伝えていく責任を、感じずにはいられませんでした。

視 察

盛友会視察について

熊本県人吉市で展開されている、地産地消の農村レストランや研修施設を訪れました。20年前に、地域活性化と農山漁村の女性の自立について、いち早く着目し、現在もなお日本全国のトップランナーとして、事業を展開する代表者の方のお話をお聞きし、現地を拝見いたしました。あふれる情熱と、ゆるぎない信念、熱い言葉の端端に、地域を愛する力の強さを感じ、私たちも、負けずに頑張ろうと、大きな力をいただきました。



中野孝之助事務所 盛岡市仙北2丁目11-33 (自宅)

電話 019-636-3181 Fax 019-636-0541 携帯 090-7063-6724 HP <http://nakano-kounosuke.com/>

皆様のお声をお聞かせ下さい

この広報は政務活動費により作成しています。